


●ガバナー 佐々木 千佳子 ● 会長 米内 安芸 ● 幹事 吉田 賢治 ● コミュニケーション委員長 大橋 央雅

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

 Facebook ページに「いいね！」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

第 2036 回 例会 記録

《社会奉仕委員会担当例会》

2017 年 9 月 28 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1468

四つの反省

- 1) 真実だったか どうか
- 2) みんなに公平だったか
- 3) 好意と友情を深めたか
- 4) みんなのためになったか どうか



久保田職業奉仕委員長

《黙祷》

9 月 20 日ご逝去された第 21 代会長近藤 保様のご冥福をお祈りいたします。

《会長要件》米内会長



八戸南ロータリークラブに尽くされた近藤さんが急逝されました。残念なことです。受け入れてご冥福をお祈りしたいと思います。奥様からお伺いしたのですが前々から具合は良くなかったようですが、ロータリーのことを最後までご自分の仕事としていたそうです。病気を克服して再度例会へと思われたまま逝かれたそうです。

近藤さんが命を懸けてと言うとあまりなので同じようなことで、命を賭して規定審議・戦略計画委員会を立ち上げていただきました。この規定審議・戦略計画委員会は R I で言えば RI の立法であり、理論武装して決して若いメンバーの桎梏にはならず、逆に余分なことを憂うことなく自由闊達な戦いの場の鎧となるような気がします。深く感謝をしなければいけないと思っています。近藤さんの意向を十分にくみ取り私たちのクラブは発展していかなければならないように思います。

今日は近藤さんの事もあるので RI の規定審議のことを少し、先輩から借りたテキストを見てお話ししたいと思います。2001 年のシカゴ規定審議会で決まったことです。読ませていただきます。「クラブ理事会の裁量で 1 ロータリー年度に 4 回まで例会を取りやめることができるが 4 回以上続けて例会を取りやめてはならない」「半期例会出席率が 60%に達せずまたはホームクラブ出席率が 30%に達しない場合、もしくは連続 4 回欠席の場合も理事会の裁量によって会員資格を終結させないことができる」かなり複雑ですがこういうことが書いてあります。これは 2001 年のもので 2017 年の RI の規定審議会では新たに例会の取りやめや出席率についてもだいぶ緩和されクラブ細則で独自に定めることが認められました。これを受けて近藤さんは規定審議委員長として委員会、理事会を通してクラブの定款細則を改定な

《出席報告》田守副委員長



正会員数 38 名。本日の出席は免除会員 5 名を含む 27 名。出席率は 72% です。前々回の例会は、出席率 74% でした。

されました。詳しくはクラブ定款細則第 5 条第 2 節に書いてありますが特筆すべきは「(d) 本クラブは、標準ロータリークラブ定款第 15 条第 4 節の規定にかかわらず、欠席による会員身分の終結はないものとする。」としたことです。改めてクラブの為ご尽力いただいた近藤さんのご冥福をお祈りいたします。

今日の例会は社会奉仕委員会担当例会で久保田さんにお話しただけのようです。どうかよろしくお祈りいたします。

《幹事報告》吉田賢治幹事

・先日の台風 18 号が通過した際、姉妹クラブの南浦項ロータリークラブよりお見舞いのメールが届きました。ご紹介します。「お元気ですか、南浦項ロータリークラブ会長の李 灼昊です。今回日本に上陸した台風のことで南浦項ロータリークラブの多くの会員が皆様のことを心配していて、今やっと手紙を書くことが出来ました。浦項の方は何事もなく台風が過ぎ去りましたが日本に近づいた台風によって八戸南ロータリークラブ会員、家族の皆様には被害は及んでいませんか、もし被害があったらご連絡してください。南浦項ロータリークラブは皆様が無事であることを望んでいます。八戸南ロータリークラブの皆様お一人、お一人の健康と無事を祈っております。」とのことで、米内会長と大澤国際奉仕委員長よりお礼のメールをお返ししました。

・今年度 RLI 開催のお知らせが届いています。会長エレクト・次期クラブ幹事・入会間もない会員が対象となっておりますが、ほかの皆様にとってもロータリーについて勉強できる機会となっておりますので、ぜひご参加ください。

・10 月 7 日から 9 日の日程で行われる地区大会につ



いて以前ご案内しましたが 2 日目の開始時間が 8 時 45 分からに変更になりました。地区大会出席予定者の方にはレターボックスに日程表を入れてあります。

- ・五所川原イヴニングロータリークラブより、チャーターナイト出席に対するお礼状が届いています。
- ・青森大学ロータリー寄付講座（じょっぱり経済学）講師ご推薦のお願いが来ています。
- ・前回の例会で発表しました新会員候補者について、期日までにどなたからも異議申し立てがございませんでしたので、お二人の入会の手続きを進めさせていただきます。
- ・10月のロータリーレートは1ドル112円です。
- ・七戸ロータリークラブ石井様より、七戸町立鷹山宇一記念美術館で行われている、渡辺貞一生誕百周年記念展の御案内と御招待券が届いています。10名様分の御招待券をいただきましたのでご興味のある方は事務局までお願いします。
- ・来週の例会は国際奉仕委員会担当例会（米山）になっています。米山奨学生の青森中央学院大学、シーズワン アピラバーさん（タイ）と委員長の野坂さまがいらっしゃる予定になっています。多くの会員の皆様にお話を聞いていただきたいと思います。
- ・ザ・ロータリアン誌が届いています。
- ・例会変更のお知らせです。八戸RC 10月18日（水）日時変更、八戸北RC 10月10日（火）休会、10月31日（火）時間変更、八戸中央RC 10月9日（月）祝日につき休会、メーキャップ不可です。

《ニコニコボックス》西尾委員長

米内会長：久保田様、今日はよろしく
お願いします。

黒田会員：ロータリー日韓親善会議で
ソウルに行って来ました。

西村会員：久保田さんの卓話を楽しみ
にお聞きしたいと思います。



《社会奉仕委員会）三浦委員長

今日は社会奉仕委員会の担当例会です。久保田さんに社会福祉についてお話していただきますのでよろしく
お願い致します。



《久保田会員》

只今、三浦委員長より私ごと紹介いただきましたが私は職業奉仕の委員長なんですけれども、実は今日の卓話の依頼を三浦さんからうちの職員にしていただけないかと打診があり、予定していた職員が出張と重なってしまったため急きょ私がお話をさせていただきます。どうい
う話かと言いますと、これから私たちがお世話になるかもしれない介護に関係する施設のことを雑学的にお話ししたいと思います。色々分類の仕方はありますが大きく違うのは民間、民間と言いましても例えば会社、一般の企業とか NPO さんが運営する施設と、法人、法人資格を有する施設、例えば社会福祉法人が経営する施設や市・区・町村が運営する施



設に大別されるのではないかと思います。私がお話ししたいのは、皆さんは施設であればあまり区別しない、どういう方が経営しているかということよりも、入れるか入れないか、入れてくれるところがあるかどうかということとか、介護認定によってお世話するケアマネージャーという人が付くわけですが、その人の勧めによってどこそこがいいのではないかということになるのですが、私が実際に知り合いの方などを見ていますと必ずしも適切でない施設に入所されている方がいらっしゃいます。本人にとって費用がもう少し安く済むような施設ではなくて、有料の施設に入所を進められるということもあります。最近はいざ規制されていますが一時金、300 万とか 500 万とか 1,000 万とかの一時金を払ってそれから月々の費用を払って入る有料の施設もあるし、同じような形態で例えば法人とか会社でやっているところもそうですが、施設によってはもちろん一時金はない、収入にもよりますが月々 5 万から 15 万の経費で入れるところもあります。これも費用だけではなく中身が違うわけです。有料老人ホームというものもあるし、私が関与しています介護老人保健施設、それから皆さんが入りたがる特別養護老人ホームというものがあります。有料というのはお金を払って入りますから、例えば要介護でなくてもお金さえ払えば入ることはできます。名前が老人ホームというだけであって自立の人でも入れます。特別養護老人ホームとか介護老人保健（老健）とかいうのは制限があります。年齢は 65 歳以上、要介護認定 3 以上、老健の場合は要介護 1 から 5 までの間です。認定のランクはだんだん厳しくなっていますけれども、1 人で立てるとか立てないとか、そういうので判断していきます。このように経営別の違いもありますし、施設の種類の違いもあります。どういう風に違うかと言いますと民間の場合は全部が全部ではないですけれども商売、営業、要するに介護は儲かるということで全国的に展開して不祥事があり認可取り消しになったところもありましたが、このほかにも不正で取消しになったところもあります。要するにそういった事がない施設を選んだ方がいいですよということで、それはどういうことかということ、どちらかということ法人立の方が経営母体もしっかりしているし、管理監督も厳しい、要するに社会福祉法人の場合ですと、本来利益を目的としていない、そのために税金もない、どちらかと言えば内容もしっかりとしている確率が高い、民間の場合も競争がありますのでしっかりやっているところももちろんあります。経営者の資質による違いはありますのでそういう所を精査して利用する必要があります。

特別養護老人ホームというのは一回入ったら死ぬまでいることが出来るので人気が高いわけです。入ったらというのは我々の立場ですが、入れる方に見たら、例えば老人保健施設に入れると期限が来たら出なければいけない、例外もありますが 3 か月たったら出なければなりません。特別養護老人ホームの場合ですと亡くなるまで入れるし、亡くなるまで入れて置けるとも言えます。（私は口が悪いので勘弁してください）そうすると後々安心だということで競争率が非常に高い、誰でも彼でも入れるわけでは

なく、私が最初に申し込んだから 1 番最初に入れるでしょうということではなく、後から申し込んでも必要性のある方、例えば身寄りのない方、災害で家も亡くし誰も介護する人がいなくなってしまったと言う人などが優先的に入れる仕組みになっているわけで、よく待機者がいて入れない、入れないという人の中には本来申し込みしても入れない人が含まれているのではないかと、申し込む資格がなくても兎に角申し込んで入れないと大きな声を出しているのではないかと、本当に入る必要性のある方は、もちろん一杯だと入れませんが、優先順位があつてそういう方が最初に入る、福祉事業ですのでそういうようになっています。特別養護老人ホームの場合はお医者さんはいませんが、頼んでいるお医者さんに何かあれば来てもらう、もちろん有料老人ホームにもお医者さんはいませんが、老健の場合は医者が常駐しています。いろんな設備があるわけではないので診断は下せませんが医者はいるので何かの時はスムーズに対処できます。老健の場合は特にリハビリを重要視して理学療法士とか作業療法士とかを置いて在宅の復帰を目的としています。要するに元気にして帰そうという施設です。特養の場合は最後までということで何もやっていないわけではないですけども、老健の場合は特に力を入れてやっています。その復帰率が高ければ施設にお金も入って来るので一生懸命元気にするようにやっていますが、中には嫌がってリハビリをやらない人もいます。入るときは車いすで来ますが出るときは歩いて帰るという人も月に 1 人くらいいらっしゃいます。入所もありますがデイケアとして通っている人の中にもこの間までは杖を突いていた人が杖を使わずに歩いたりします。一生懸命リハビリした人は元気になりますけどもやらない人はすぐに弱ってしまいます。施設的にはこのような違いがあります。

費用的には有料の場合ですと一時金がある場合もない場合もありますが、0 から数千万の所もあります。この辺ですとだいたい 500 万とか 800 万くらいです。これも入居する年数によって返還率が変わります。入ってすぐに亡くなれば払ったお金の 9 割とかは返還しますが 5 年とか 10 年入っていれば返さないという規定を作つてやっているようです。この一時金を取るというのが色々と問題になって一時金を取るなということになってはいますがどういう名目で頂いているのかわかりませんがそういう所もあります。有料老人ホームの場合費用は月 15 万から 30 万くらいと色々あります。特養の場合ですと月額 8 万

から 13 万くらいです。これは入浴・排泄・食事などの介護・日常生活の介助・機能訓練とか生活支援と介護サービスが中心です。老健の場合 9 万から 15 万くらい。15 万というのは個室にはいった場合です。さきほどの特別養護老人ホームのサービスのほかにリハビリ環境、医師や看護師、薬剤師などがいるという特色があります。有料の方は大概すぐに入れますけれども、有料老人ホームもいろいろな施設が出来その他にもサービス付き高齢者住宅とかもありますので、これから先は競争状態になるのではないかとされています。死ぬまで居れるのは有料老人ホームもそうですが、施設によっては介護状態になつたら出て下さいという所もありますので、入るときには注意してください。

先ほども言いましたが老健の場合皆さんは入れないと言いますが、うちの施設の場合 15 床は空いています。それでも入れない人もいます。なぜかというに入れない人、入る資格がない人が申し込まれても入れないんです。病気を持っていて常にお医者にかからなければならぬ人とかは残念ながら入れません。まだまだお話ししたい事はありますが時間もあまりないので話題を変えます。

我々はできるだけそういう施設に入らなくてもいいようにロータリー活動を一生懸命やるとかボランティア活動をやるとか、いろんな趣味を持つとかしていった方がいいと思うんですよ、いくら施設でも万全ではない、1 対 1 でお世話はできない、1 対 3 とかの職員の配置です。入っている人を見ると友達が作れない、友達がいないので話をしない。黙ってテレビを見たりしていますが、黙って話もしないから会話もない、友達もない、いざ話をしてみると話はできますが、何故話をしないか聞くと知らない人だから、みんなも話したくないだろうからとコミュニケーションを取るのが下手なんですね、そういうことを解消するために色んなサークル活動をしてはいますが、いずれにして入らなくて済むんなら入らないようにした方がいいし、もし入ったなら、コミュニケーションを取らないと、しゃべらないとどんどん弱って行ってしまいます。施設でも中庭で日光浴をさせたり音楽の演奏をさせたり習字をしたりといろいろとやっています。音楽は珍しくもないですが演奏というのは珍しいと思います。今度文化祭がありますので家族の前で演奏する発表の場を作つたり、作品展とかで作品を孫たちに褒めてもらうとか、身体的なことだけでなく精神的な生きがい感とかそういったことに心がけています。